

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公開番号】特開2009-275703(P2009-275703A)

【公開日】平成21年11月26日(2009.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-047

【出願番号】特願2009-115097(P2009-115097)

【国際特許分類】

F 01 D 25/12 (2006.01)

【F I】

F 01 D 25/12 B

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月30日(2012.3.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複流蒸気タービン(2)を冷却する方法であって、

前記タービン(2)のセクションの各ノズル(18)に蒸気流を供給するステップと、各蒸気流(4)の一部分を反転させて各セクションの後方側から前方側への逆向き蒸気流(26)を形成しつつ各逆向き蒸気流(26)をロータ(6)とタブ(8)の間の環状空間(16)に導くステップと、

前記環状空間(16)の位置にある第1の圧力の第1の端部と前記第1の圧力よりも低い第2の圧力の第2の端部とを有するパイプ(20)を通して前記逆向き蒸気流(26)を除去するステップと

を含む方法。

【請求項2】

前記逆向き蒸気流(26)が蒸気バランス孔(28)を通して供給される、請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記蒸気バランス孔(28)が各セクションの第1段のロータ(6)及びバケット(12)の少なくとも1つに設けられる、請求項2記載の方法。

【請求項4】

各セクションの第1段が根元反作用を行うように構成される、請求項1記載の方法。

【請求項5】

前記セクションの第1段が同一の根元反作用を行うように構成される、請求項4記載の方法。

【請求項6】

複流蒸気タービンであって、当該複流蒸気タービンが、

当該タービンの一セクションに各自設けられた一対のノズル(18)と、

前記セクションのバケット(12)を支持するロータ(6)と、

前記一対のノズル(18)を支持するタブ(8)と、

前記タブ(8)とロータ(6)の間の環状空間(16)から延びかつ前記環状空間の位置にある第1の端部と第2の端部とを有するパイプ(20)と

を含んでおり、前記パイプの第1の端部における圧力が前記第2の端部における圧力より

も大きい、複流蒸気タービン。

【請求項 7】

各ノズル(18)に供給された蒸気流(4)の一部分(26)が、反転して、蒸気バランス孔(28)を通って各セクションの後方側から前方側に流れる、請求項6記載の複流蒸気タービン。

【請求項 8】

前記蒸気バランス孔(28)が各セクションの第1段のロータ(6)及びバケット(12)の少なくとも1つに設けられる、請求項7記載の複流蒸気タービン。

【請求項 9】

各セクションの第1段が根元反作用を行うように構成される、請求項6記載の複流蒸気タービン。

【請求項 10】

前記セクションの第1段が同一の根元反作用を行うように構成される、請求項9記載の複流蒸気タービン。